

bizhub PRO

951

ユーザーズガイド セキュリティー編



- 1 はじめに
 - 1.1 ご挨拶
 - 1.2 ページの見かた
- 2 セキュリティー機能
 - 2.1 全体制御ソフトウェア
 - 2.2 セキュリティー機能
 - 2.3 セキュリティー強化モードのユーザー認証
 - 2.4 セキュリティー強化モードのHDD保存機能
 - 2.5 セキュリティー関連の管理者操作
- 3 索引
 - 3.1 項目別索引
 - 3.2 キー索引

本書に、乱丁、落丁などがありましたら、サービス実施店もしくは、最寄の販売店にご連絡ください。新しいものとお取替えいたします。

もくじ

1 はじめに

1.1	ご挨拶.....	1-2
1.1.1	マニュアル体系について	1-2
1.1.2	ユーザーズガイドについて	1-3
1.2	ページの見かた	1-4
1.2.1	本文中の記号について	1-4
1.2.2	原稿と用紙の表示について	1-5

2 セキュリティー機能

2.1	全体制御ソフトウェア	2-2
2.1.1	全体制御ソフトウェアのバージョン.....	2-2
2.1.2	ROM バージョン表示機能	2-2
2.2	セキュリティー機能	2-3
2.2.1	セキュリティーモード	2-3
2.2.2	セキュリティー環境	2-3
2.2.3	セキュリティー強化モードの内容.....	2-4
2.2.4	セキュリティー強化モードによって保護が強化されるデータ.....	2-5
2.2.5	使用後の残存データの保護と消去.....	2-6
2.3	セキュリティー強化モード時のユーザー認証	2-7
2.3.1	ユーザー登録の追加	2-7
2.3.2	ユーザー登録の変更	2-13
2.3.3	ユーザー登録の削除	2-18
2.3.4	ユーザーによるパスワードの変更.....	2-21
2.4	セキュリティー強化モード時のHDD 保存機能	2-24
2.4.1	データの保存（コピー）.....	2-24
2.4.2	データの保存（ボックス）	2-28
2.4.3	データの読出しと削除	2-32
2.4.4	機密プリントデータの出力	2-36
2.5	セキュリティー関連の管理者操作.....	2-40
2.5.1	セキュリティー強化モードのON/OFF	2-40
2.5.2	HDD ロックパスワード.....	2-43
2.5.3	一時データ上書き削除	2-45
2.5.4	全データ上書き削除	2-48
2.5.5	監査ログのプリント	2-51
2.5.6	監査ログの解析	2-53

3 索引

3.1	項目別索引	3-2
3.2	キー索引.....	3-3



MEMO



はじめに

1 はじめに

1.1 ご挨拶

このたびは弊社製品をお買上げいただき、誠にありがとうございます。

このユーザーズガイドには、セキュリティー機能について記載しています。セキュリティー強化機能の使い方、セキュリティー強化機能使用時の機械の操作について知りたい場合は、このユーザーズガイドをお読みください。

1.1.1 マニュアル体系について

印刷物のマニュアル	概要
[ユーザーズガイド セキュリティー編]	セキュリティー機能について記載しています。 セキュリティー強化機能の使い方、セキュリティー強化機能使用時の機械の操作について知りたい場合は、このユーザーズガイドをお読みください。
[オペレーションクイックガイド]	使用頻度の高い機能について、操作手順を中心に記載しています。本機の特長を理解したい場合は、このガイドをお読みください。
[安全にお使いいただくために]	本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい注意事項とお願いを記載しています。 製品のご使用前に必ずお読みください。
ユーザーズガイド CD 収録のユーザーズガイド	概要
[ユーザーズガイド コピー編]	機械の概要やコピー機能について記載しています。 ・ 本体、オプションの概要および仕様 ・ 電源の入れ方、切り方 ・ 使用する用紙の仕様 ・ 基本コピーのとり方および設定方法 ・ 補給、廃棄部材の処理 ・ 応用設定、出力設定、ジョブリスト ・ トラブルの対処方法
[ユーザーズガイド POD 管理者編]	日頃の使い方に合わせて機械をカスタマイズしたり、機械を管理したりする方法について記載しています。 ・ トレイ設定 ・ 表裏調整 ・ コントローラー設定 ・ 調整、設定メニュー画面 ・ ネットワーク設定 ・ PageScope Web Connection 設定 ・ Web Utilities 設定
[ユーザーズガイド プリンター編]	プリンタードライバーおよびユーティリティツールの設定について記載しています。 ・ PCL ドライバー ・ PS Plug-in ドライバー ・ PS PPD ドライバー ・ PageScope Web Connection 設定
[ユーザーズガイド ネットワークスキャナー編]	ネットワークスキャナー機能の操作について記載しています。 ・ 本体用ハードディスクに保存／出力 ・ メールで送信 ・ コントローラー用ハードディスクに保存 ・ FTP サーバーに送信 ・ SMB サーバーに送信 ・ グループに送信
[商標／ライセンス]	商標およびライセンスについて記載しています。 製品のご使用前に必ずごらんください。

1.1.2 ユーザーズガイドについて

このユーザーズガイドは、本機をはじめてご利用になるお客様から本機を管理する管理者までを対象としています。

本機のセキュリティ機能について説明しています。

お困りの際には、サービス実施店にお問い合わせください。

1.2 ページの見かた

1.2.1 本文中の記号について

本書は、さまざまな情報を記号で記載しています。

ここでは、製品を正しく安全にお使いいただくために、本書で使用している記号について説明します。

安全にお使いいただくために

⚠ 警告

- この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

- この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

重要

本機や原稿に損害をあたえる可能性が想定される内容を示しています。物的損害を避けるために指示に従ってください。

手順文について

- ✓ このチェック記号は、手順文の前提条件や、手順を実行する前にあらかじめ知っておいたほうが良い情報を示しています。

1 このスタイルの1は、最初の手順を表します。

2 このスタイルの番号は、連続する手順の順番を表します。

→ この記号は、手順文の補足的な説明を表します。

手順の動作を
イラストで
表しています。

→ この記号は、目的のメニューにアクセスする操作パネルの遷移を表します。



目的の画面を表示しています。

**参照**

参照先を表しています。

必要に応じてご覧ください。

キー記号について

[]

タッチパネル上のキー名称、コンピューター画面上のキー名称、ユーザズガイド名称などを表します。

文中の太字

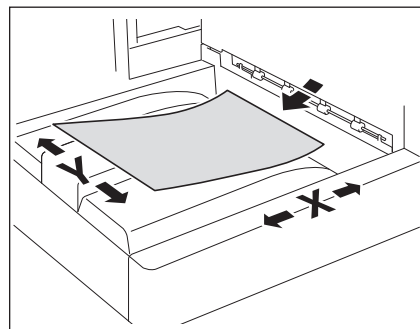
操作パネル上のキー名称、部品名称、製品名、オプション名などを表します。

1.2.2 原稿と用紙の表示について

用紙の大きさ

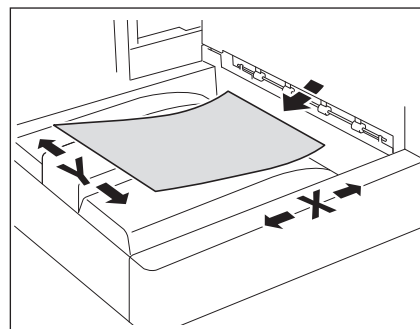
本文中に出てくる原稿と用紙の表示について説明します。

原稿と用紙の大きさを表す場合、Y 辺を幅、X 辺を長さと呼びます。

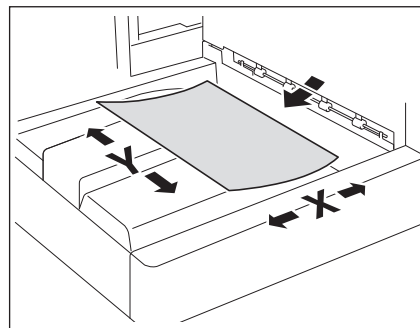


用紙の表示

幅 (Y) よりも長さ (X) のほうが大きいものを □ と表示します。



幅 (Y) よりも長さ (X) のほうが小さいものを ▭ と表示します。



MEMO



セキュリティー機能

2 セキュリティー機能

2.1 全体制御ソフトウェア

2.1.1 全体制御ソフトウェアのバージョン

全体制御ソフトウェアのバージョンは以下のとおりです。

本ソフトウェアは、画像制御プログラムとコントローラー制御プログラムで構成されています。

画像制御プログラム（画像制御 I1）のバージョン：

A4EU0Y0-00I1-G00-15

コントローラー制御プログラム（IC コントローラー P）のバージョン：

A4EW001-00P1-G00-15

2.1.2 ROM バージョン表示機能

bizhub PRO 951 の制御ソフトウェア（画像制御プログラム）のバージョンは、サービスエンジニア（CE）のサービスモードの ROM バージョン表示機能を使って確認できます。

ROM バージョンを表示させると、画像制御プログラムのバージョンが以下のように表示されます。

A4EU0Y0-00I1-G00-**

画像制御プログラム（画像制御 I1）：G00-2 桁（例：G00-**）

画像制御プログラムのバージョンを確認するときは、間違いのないよう注意してください。

2.2 セキュリティー機能

2.2.1 セキュリティーモード

bizhub PRO 951 には、セキュリティー機能に関して 2 つのモードがあります。

通常モード

機械が単独で使用されていて、利用者からの不正なアクセスや操作が行われにくい場合に使用します。工場出荷時に設定されているモードです。通常モードの操作については、それぞれのユーザーズガイドをごらんください。

セキュリティー強化モード

機械がネットワークや電話線などを介して外部と接続する可能性がある場合、セキュリティー強化モードを使用します。機械を管理するために任命された管理者が、このドキュメントに従って機械を管理することで、一般利用者に対してデータ保護の立場から、より安全な操作環境を提供します。

セキュリティー強化モードを使用するには、サービス実施店による下記の設定が必要です。サービス実施店にお問い合わせください。

サービス実施店は、機械に CE 認証の CE パスワードと管理者パスワードを設定します。サービス実施店は、サービスエンジニア（CE）の作業を行うとき、CE パスワードを入力します。管理者は、サービス実施店から管理者パスワードを取得し、セキュリティー強化モード関連の設定をするときに入力します。

管理者は、取得した管理者パスワードを他者に漏洩しないでください。

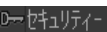
管理者パスワードを取得した管理者は、セキュリティー強化モードが使用できるようになった機械に以下の設定をします。

- セキュリティー強化モード
- ユーザー登録の追加と変更
- ユーザー登録の削除
- HDD ロックパスワード

管理者は、ユーザーに対し下記の指導をお願いします。

- 各自のパスワードを他者に漏洩しないこと
- ユーザー認証によるログインを行い機械操作を終了したときは、必ずログアウトすること

HDD への不正なアクセスを防止するため、セキュリティー強化モードを必ず設定してください。

セキュリティー強化モードが ON 状態の機械は、画面右下部にセキュリティーアイコン  を表示します。

セキュリティー強化モードを OFF にした場合は、セキュリティーアイコンが消えます。また、誤って管理者がセキュリティー強化モードを OFF にした場合は、サービス実施店に連絡してください。セキュリティー環境や設定をサービスエンジニア（CE）に確認してもらってから、セキュリティー強化モードを再度設定してください。

2.2.2 セキュリティー環境

セキュリティー強化モードのご利用が推奨される使用環境

機械が電話回線やネットワークによって監視されている環境

セキュリティー環境の整備

責任者および管理者は、セキュリティー強化モードのご利用とともに、下記の使用環境を整えることをおすすめます。

クライアント PC から本機に送信される機密プリントファイル、認証プリントファイルは、暗号化されていません。機密プリントファイル、認証プリントファイルを保護するために、暗号通信機や盗聴検知機器を設置するなど盗聴防止対策を行ってください。

- 管理者の資質：
責任者は、管理者として十分な知識、技術、および経験を持った、信頼がおける人物を選出して、管理を依頼します。

- サービスエンジニア（CE）の保証：
責任者または管理者は、サービスエンジニア（CE）と保守契約を締結したことを確認した上で、セキュリティ強化モードを使用します。保守契約には、サービスエンジニア（CE）が不正な行為をしない旨を明記します。
- セキュアなローカルネットワーク：
ファイアウォールで保護された内部ネットワーク環境に機械を接続して、外部ネットワークから機械へアクセスできないようにしてください。
- 管理者は、機械を関係者だけが操作できる場所に設置にします。夜間は施錠管理されている場所に、昼間は管理者が監視可能な場所に設置して、HDDなどの部品が盗難されないように、および機械内部を解析するような特殊装置が接続されないように管理してください。
- 管理者は、設置作業やメンテナンス作業などのサービスエンジニア（CE）が行う作業に立ちあってください。
- 管理者は、機械に設定されている日時設定値にくるいがないか定期的に確認し、管理してください。

2.2.3 セキュリティ強化モードの内容

下記のセキュリティ項目が強化されます。

メモリーやHDDにある使用後の残存データの保護と消去

メモリーやHDDに保存される画像データには、AHA圧縮データと非圧縮データ（TIFF形式、PDF形式およびPSデータの3種類）があります。AHA圧縮データが書込まれたメモリーやHDDの画像領域は、使用後のデータを消去して開放されます。通常モード時は、データを完全に消去していないので、不正な手段で読まれてしまう場合があります。セキュリティ強化モードでは、圧縮データか非圧縮データかにかかわらず、保存したメモリーやHDDの画像領域を、画像とは関係しないデータですべて上書きしてから、その領域を開放します。

パスワードの強化

セキュリティ関連のパスワードは5種類あります。

- CEパスワード
- 管理者パスワード
- ユーザーパスワード
- 部門名パスワード
- HDDロックパスワード

CEパスワード、管理者パスワード、部門名パスワードは8文字の半角英数字（英字は大文字と小文字を区別）や記号に決められています。

ユーザーパスワードは1～64文字の半角英数字（英字は大文字と小文字を区別）で設定しますが、セキュリティ強化モードの場合、8文字未満のユーザーパスワードは使用できなくなります。

CEパスワード、管理者パスワード、部門名パスワードは、8文字以上のパスワードを入力すると最終文字が8文字目として認識されます。

また、上記5種類のパスワード入力時に誤ったパスワードを入力したとき、約5秒間再入力を受け付けなくなります。

セキュリティ関連のパスワードを忘れてしまった場合は、パスワードの種類によって下記のように対応してください。

- ユーザーパスワード、部門名パスワードをお忘れになったときは、お客様の管理者の方にお問い合わせください。
- 管理者パスワード、HDDロックパスワードをお忘れになったときは、サービス実施店にお問い合わせください。

不正なアクセスやデータの改ざんを防止するため、各パスワードを定期的に変更してください。

データへのアクセス

HDDに格納されているボックスにデータを保存したり、保存したデータを出力したりするときは、管理者があらかじめ設定している強化されたパスワードを入力してユーザー認証を得なければならないようにします。

スキャンデータをボックスに保存するときは、強化されたパスワードを設定するとセキュリティを高めることができます。スキャンデータを保存したフォルダーやボックスの削除は、管理者だけができます。

ボックスの属性を変更したときは、強化されたパスワードによるユーザー認証が必要になります。また、保存したスキャンデータを利用するときも、ユーザー認証が必要になります。

本体 NIC の設定

セキュリティー強化モードを ON にしている場合、本体 NIC を使用できません。

外部からのアクセス禁止

CS Remote Care 以外の電話回線からは、一切アクセスできません。

監査ログの作成、保存、解析

セキュリティー機能の動作に関する履歴を、監査ログとして作成、保存します。セキュリティーに関する操作の日時、操作した者を特定できる情報、操作内容、および操作結果が保存され、不正なアクセスに対する解析ができます。このログは、監査ログ用のメモリー領域が枯渇すると上書きされます。

管理者の認証

管理者の認証データは、サービス実施店が設定します。管理者は、管理者パスワードを入力して認証を得ます。この認証データは、機械に対して 1 つだけ登録できます。

管理者モード

管理者が入力した管理者パスワードが認証されると、機械は管理者モードになります。管理者モードでは、各種機能の設定を変更できます。

管理者モードの使用中に本機から離れる場合は、必ず管理者モードを終了してください。

IC カード

セキュリティー強化モードを ON にすると、IC カードによるユーザー認証はできなくなります。

USB 接続ポートの機能

セキュリティー強化モードを ON にしても、USB 接続ポートで下記機能は使用できます。

- USB メモリー ISW
- USB チャートプリント (CE 用)
- キーボード、マウス

プリンターについて

プリント出力を行う場合は、プリンターコントローラーとプリンタードライバーが必要です。セキュリティー強化モードを設定したプリンターコントローラーを使用するときは、プリンタードライバーでユーザー名を入力すると、プリントデータを本体内のメモリーまたは HDD に保存できます。保存したデータは、保存時にプリンタードライバーで入力したユーザー名、およびそのユーザー名のパスワードを使って出力できます。他人のユーザー名を使ってプリントデータを保存したときは、保存したデータを他人が出力することになるので注意してください。

セキュリティー強化モードを設定したプリンターコントローラーとプリンタードライバーについては、サービス実施店にお問い合わせください。

プリンターコントローラーおよびプリンタードライバーの操作方法は、それぞれのユーザーズガイドをご覧ください。

2.2.4 セキュリティー強化モードによって保護が強化されるデータ

セキュリティー強化モードによって保護が強化されるデータ（対ユーザー）には下記のものがあります。

- 個人フォルダー（パスワード付き）が扱うデータ

管理者が管理する下記のデータも保護が強化されます。

- ユーザーのデータ
- 機械を管理するデータ

セキュリティ強化モードで保護対象にならないデータについて

機械と PC をローカルネットで接続しているとき、PC で入力したパスワードはセキュリティ強化モードの対象外です。このような PC ではパスワードの漏洩のおそれがあるので、パスワードを入力しないでください。

セキュリティ強化モードの ON/OFF について

セキュリティ強化モードの ON/OFF は、管理者が行います。

管理者は、セキュリティ強化モードを必ず ON にしてください。セキュリティ強化モードを OFF にすると、データ漏洩の危険がありますので、特にご注意ください。

2.2.5 使用後の残存データの保護と消去

コピー、スキャン、およびプリンターの各モードのデータは、一時的にメモリーや HDD に保存され、ボックスへの格納などの操作をしなければ使用後に消去されます。

データは特殊な圧縮方法で圧縮されているので、一般的に外部で解凍できません。また、圧縮データを消去する場合は、その一部を破壊したり上書きしたりするので、解凍すること自体ができなくなります。

- メモリーに一時的に保存されたデータは、ジョブの中断または終了時点で不正データでの上書きクリアされます。
- 複数のメモリーに保存されているデータは、同じタイミングで不正データでの上書きクリアされます。

ボックスに格納されたデータは、削除指令が出されたときに不正データでの上書きクリアされます。

- 外部にデータを送信した場合は、完了時に不正データでの上書きクリアします。
- 管理者が各ボックスの削除指令を出したとき、不正データでの上書きクリアします。

2.3 セキュリティ強化モード時のユーザー認証

セキュリティ強化モードが ON になると、ユーザー認証に関する機能が下記のように強化されます。

- 設定メニュー画面の [06 管理者設定] — [03 ユーザー認証／部門管理] — [01 認証方式] の [ユーザー認証] が自動的に [本体装置認証] に設定されます。
- ユーザーのデータ保護が必要な以下の機能を使用するときは、必ずユーザー認証が必要になります。
 - 主電源スイッチを OFF にしたとき
 - 副電源スイッチを OFF にしたとき
 - 操作パネルの ID を押したとき
 - タッチパネルの [読出し]、[コピー]、[スキャン]、または [保存] タブを押したとき
 - オートリセット機能が動作したとき
- ユーザー認証時に入力するユーザー名に対するパスワード（ユーザーパスワード）は、8 ～ 64 文字の半角英数字（英字は大文字と小文字を区別）でなければ、使用できなくなります。8 文字未満のユーザーパスワードを設定しているユーザー名を引き続き使用する場合は、管理者がユーザーパスワードを 8 文字以上に変更する必要があります。
- ユーザー認証時にユーザー名やユーザーパスワード（または部門名や部門名パスワード）の入力を間違えたとき、約 5 秒間再入力を受け付けなくなります。
- セキュリティ強化モードを ON にすると、IC カードによるユーザー認証はできなくなります。

ユーザーが HDD 内のパスワードが設定されているボックスにアクセスすると、パスワードの認証操作はすべて監査ログとして保存されます。

最初はユーザー認証ができないようになっています。ユーザー認証を設定する場合、部門振分け数を変更する必要があります。詳しくは、POD 管理者編をごらんください。

2.3.1 ユーザー登録の追加

セキュリティ強化モード時に必要となるユーザー名およびパスワードを登録します。

- 1 操作パネルの設定メニュー／カウンターを押し、設定メニュー画面を表示させます。
- 2 [06 管理者設定] を押します。



パスワード入力画面が表示されます。

- 3 管理者パスワードを入力します。
 - 8 文字の半角英数字や記号の管理者パスワードを入力し [OK] を押します。
 - 半角英字は大文字と小文字の区別をします。
 - 間違ったパスワードや 8 文字未満の半角英数字や記号を入力して [OK] を押すと、[パスワードが一致しません しばらくお待ち下さい] というメッセージを表示して、5 秒間いずれのキーやボタンも機能しくなくなります。5 秒後に再度正しいパスワードを入力してください。
 - 認証がうまくいかなかった情報は、監査ログとして保存します。



管理者設定メニュー画面が表示されます。

- 4 「03 ユーザー認証／部門管理」を押します。



ユーザー認証／部門管理メニュー画面が表示されます。

- 5 「02 ユーザー認証設定」を押します。



ユーザー認証設定メニュー画面が表示されます。

6 「02 ユーザー登録」を押します。



ユーザー登録画面が表示されます。

7 「追加」を押します。



ユーザー登録の追加画面が表示されます。

8 「ユーザー No.」を押します。



画面のテンキー、[▼]、または[▲]を押して、任意のユーザー No. を入力します。
 → ユーザー No. は、半角数字を 1 ～ 1000 の範囲で設定できます。



[OK] を押すと、ユーザー登録の追加画面にもどります。

9 [ユーザー名] を押します。

ユーザー名入力画面が表示されます。任意のユーザー名を入力します。

→ ユーザー名は、全角の漢字、ひらがな、カタカナ、英字で 32 文字、半角の英数字、記号、カタカナで 64 文字まで入力できます。



[OK] を押すと、ユーザー登録の追加画面にもどります。

10 [パスワード] を押します。

パスワード入力画面が表示されます。手順 9 で入力したユーザー名に対応したユーザーパスワードを入力します。

→ ユーザーパスワードは、半角の英数字（英字は大文字と小文字を区別）で 8 ～ 64 文字を入力します。

重要

8 文字以上の半角英数字のパスワードを設定してください。8 文字未満のパスワードはセキュリティ強化モード時には使用できません。



[OK] を押すと、ユーザー登録の追加画面にもどります。

11 [所属部門] を押します。

所属部門設定画面が表示されます。任意の所属部門を選択します。

重要

認証方式の [ユーザー認証／部門認証連動] が [連動する] に設定されていると、[所属部門] を設定できます。

重要

所属部門は事前に登録が必要です。ここでは登録されている所属部門から 1 つを選択します。



[OK] を押すと、ユーザー登録の追加画面にもどります。

12 [上限設定] を押します。

- ここでは、認証を得てプリントできるようになったユーザーの出力枚数の上限値を設定します。
- [上限設定] 右の [有効] を押して、[上限値] を押します。



- テンキー、[▼]、または[▲]を押して、上限値を入力します。上限値は、1～99,999,999の範囲で設定できます。
- [OK]を2回押すと、ユーザー登録画面にもどります。



- 13 [使用可能な機能] 右の[コピー操作][スキャン操作][プリンター印字][読出し操作]を押して、ユーザーの使用を可能にする本機の機能を選択します。



- 14 [OK]を押します。

- 入力が終わったら、ユーザー登録画面にある[前画面]を押します。ユーザー認証設定メニュー画面にもどります。

2.3.2 ユーザー登録の変更

セキュリティ強化モード時に必要となるユーザー名およびパスワードを変更します。

- 1 操作パネルの設定メニュー／カウンターを押し、設定メニュー画面を表示させます。
- 2 [06 管理者設定] を押します。



パスワード入力画面が表示されます。

- 3 管理者パスワードを入力します。
8 文字の半角英数字や記号の管理者パスワードを入力し [OK] を押します。
→ 半角英字は大文字と小文字の区別をします。
→ 間違ったパスワードや 8 文字未満の半角英数字や記号を入力して [OK] を押すと、[パスワードが一致しません しばらくお待ち下さい] というメッセージを表示、5 秒間いずれのキーやボタンも機能しなくなります。5 秒後に再度正しいパスワードを入力してください。
→ 認証がうまくいかなかった情報は、監査ログとして保存します。



管理者設定メニュー画面が表示されます。

- 4 [03 ユーザー認証／部門管理] を押します。



ユーザー認証／部門管理メニュー画面が表示されます。

- 5 「02 ユーザー認証設定」を押します。



ユーザー認証設定メニュー画面が表示されます。

- 6 「02 ユーザー登録」を押します。



ユーザー登録画面が表示されます。

- 7 変更したいユーザー No. とユーザー名が表示されているボタンを選択します。



8 [変更] を押すと、ユーザー登録変更画面が表示されます。

→ ユーザー No. は変更できません。

9 ユーザー名を変更する場合、[ユーザー名] を押します。



10 変更するユーザー名を入力します。

→ ユーザー名は、全角の漢字、ひらがな、カタカナ、英字で 32 文字、半角の英数字、記号、カタカナで 64 文字まで入力できます。



[OK] を押すと、ユーザー登録変更画面にもどります。

11 パスワードを変更する場合、[パスワード] を押します。

- パスワード入力画面を表示します。手順 9 で入力したユーザー名に対応した新しいユーザーパスワードを入力します。
- ユーザーパスワードは、半角の英数字（英字は大文字と小文字を区別）で 8 ～ 64 文字を入力します。
- 現在のパスワードを新パスワードとして設定できません。



[OK] を押すと、ユーザー登録変更画面にもどります。

12 所属部門を変更する場合、[所属部門] を押します。

- 所属部門設定画面を表示します。任意の所属部門を選択します。

重要

認証方式の [ユーザー認証／部門認証連動] が [連動する] に設定されていると、[所属部門] を設定できます。

重要

所属部門は事前に登録されている必要があります。所属部門設定画面の所属部門名ボタンを 1 つ選択します。



[OK] を押すと、ユーザー登録変更画面にもどります。

13 上限設定を変更する場合は、[上限設定] を押します。認証を得てプリントできるようになったユーザーの出力枚数の上限値を変更します。

- [上限設定] 右の [有効] を押して、[上限値] を押します。



- テンキー、[▼], または [▲] を押して、上限値を入力します。上限値は、1 ～ 99,999,999 の範囲で設定できます。
- [OK] を 2 回押すと、ユーザー登録画面にもどります。



- 14 [使用可能な機能] 右の [コピー操作] [スキャン操作] [プリンター印字] [読出し操作] を押して、ユーザーに使用を認める本機の機能を選択します。



- 15 [OK] を押します。
- 入力が終わったら、ユーザー登録画面にある [OK] を押します。ユーザー認証設定メニュー画面にもどります。

2.3.3 ユーザー登録の削除

セキュリティ強化モード時に必要となるユーザー名およびパスワード、さらに個人フォルダーを削除します。

- 1 操作パネルの設定メニュー／カウンターを押し、設定メニュー画面を表示させます。
- 2 [06 管理者設定] を押します。



パスワード入力画面が表示されます。

- 3 管理者パスワードを入力します。
 - 8 文字の半角英数字や記号の管理者パスワードを入力し [OK] を押します。
 - 半角英字は大文字と小文字の区別をします。
 - 間違ったパスワードや 8 文字未満の半角英数字や記号を入力して [OK] を押すと、[パスワードが一致しません しばらくお待ち下さい] というメッセージを表示し、5 秒間いずれのキーやボタンも機能しなくなります。5 秒後に再度正しいパスワードを入力してください。
 - 認証がうまくいかなかった情報は、監査ログとして保存します。



管理者設定メニュー画面が表示されます。

4 「03 ユーザー認証／部門管理」を押します。



ユーザー認証／部門管理メニュー画面が表示されます。

5 「02 ユーザー認証設定」を押します。



ユーザー認証設定メニュー画面が表示されます。

6 「02 ユーザー登録」を押します。



ユーザー登録画面が表示されます。

- 7 削除するユーザー名を押します。



- 8 [削除] を押します。
→ 削除確認のダイアログを表示します。



[はい] を押します。選択したユーザーを削除し、同時に個人フォルダーも削除されます。

2.3.4 ユーザーによるパスワードの変更

ユーザーは、ユーザー認証に必要なパスワードを変更できます。管理者がユーザー登録した後、ユーザーが自分自身のパスワードを再設定することをおすすめします。

重要

ユーザー認証を得ていない状態でユーザーパスワードを変更するとき、変更するユーザーパスワードに割当てられたユーザー名を入力する必要があります。

- 1 操作パネルの設定メニュー／カウンターを押し、設定メニュー画面を表示します。
- 2 [01 環境設定] を押します。



環境設定メニュー画面を表示します。

- 3 [08 ユーザーパスワード変更] を押します。



ユーザーパスワード変更画面を表示します。

- 4 [ユーザー名] を押し、変更するパスワードに割り当てられたユーザー名を入力します。



[OK] を押します。

- 5 [現パスワード] を押し、手順 4 で入力したユーザー名に対応した現パスワードを入力します。



[OK] を押します。

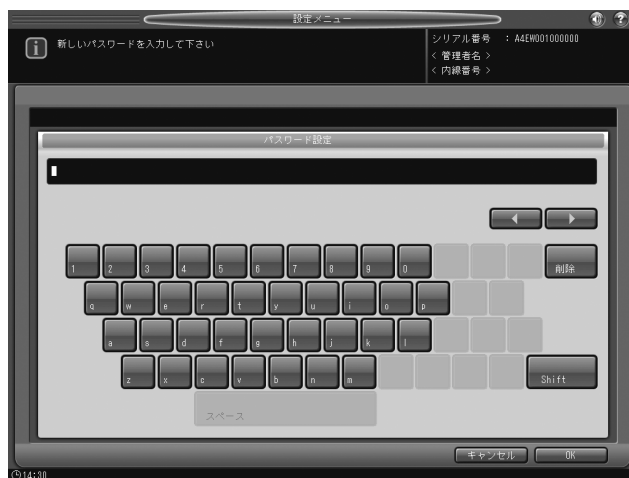
入力したパスワードは、***** で表示されます。

→ 半角英字は大文字と小文字の区別をします。

→ 間違ったパスワードや 8 文字未満の半角英数字を入力して [OK] を押すと、[パスワードが一致しません しばらくお待ち下さい] というメッセージを表示し、5 秒間いずれのキーやボタンも機能しなくなります。5 秒後に再度正しいパスワードを入力してください。

→ 認証がうまくいかなかった情報は、監査ログとして保存します。

- 6 認証が成功すると、ユーザーパスワード変更画面になり、新規パスワードを設定します。
- [新パスワード] を押し、手順 4 で入力したユーザー名に対応した新パスワードを入力します。
 - ユーザーパスワードは、半角の英数字（英字は大文字と小文字を区別）で 8 ～ 64 文字を入力します。



[OK] を押します。

重要

名前、誕生日、社員番号など他人が容易に推測できるパスワードを設定しないでください。

- パスワードの設定がうまくいかなかった情報は監査ログとして保存されます。
- 現在のパスワードを、新パスワードとして設定できません。

- 7 再度、同じパスワードを確認のため入力します。
- [確認入力] を押し、再度、新パスワードを入力します。
- [OK] を押します。
- 8 [OK] を押します。
- 環境設定メニュー画面が表示されます。
- 9 [終了] を押します。
- 設定メニュー画面を表示する前の画面にもどります。

2.4 セキュリティ強化モード時の HDD 保存機能

データを保存または 出力する場合、HDD に格納されているボックスを使用します。データの漏洩や改ざんを防止するには、パスワードが設定されているボックスの使用をおすすめします。

重要な機密文書などを保存するときは、必ずセキュリティ強化モードを設定してください。

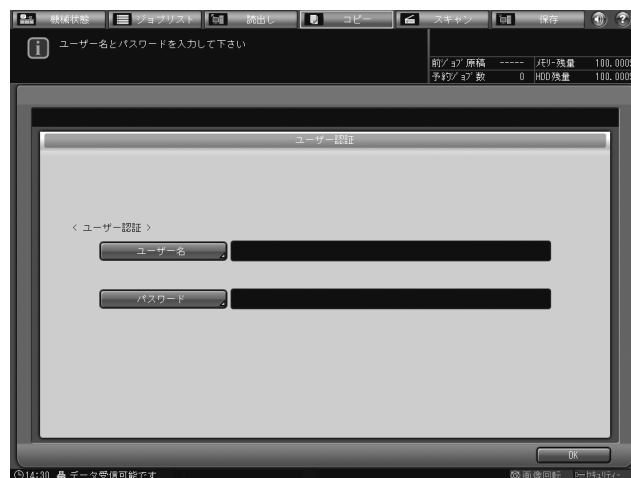
管理者は、なんらかの理由で一時的にセキュリティ強化モードを OFF した場合、OFF したことを利用者に伝えてください。

ボックスへのデータ保存や保存されているデータの出力操作については、ネットワークスキャナー編をご覧ください。

2.4.1 データの保存（コピー）

セキュリティ強化モード時に、HDD に格納されているボックスにデータをコピーしながら保存する手順を説明します。

- 1 表示されているユーザー認証画面の [ユーザー名] を押します。



ユーザー名入力画面が表示されます。

- 2 設定したユーザー名を入力して、[OK] を押します。
 - ユーザー名は、全角の漢字、ひらがな、カタカナ、英字で 32 文字、半角の英数字、記号、カタカナで 64 文字まで入力できます。半角英字は大文字と小文字の区別をします。



ユーザー認証画面にもどります。

3 「パスワード」を押します。



パスワード入力画面が表示されます。

4 設定したパスワードを入力して、「OK」を押します。

- ユーザーパスワードは、半角の英数字で 8 ～ 64 文字を入力します。
- 間違ったパスワードや 8 文字未満の半角英数字を入力して「OK」を押すと、「パスワードが一致しません」という警告メッセージが表示され、5 秒間いずれのキーやボタンも機能しなくなります。5 秒後に再度正しいパスワードを入力してください。
- 認証がうまくいかなかった情報は監査ログとして保存されます。ユーザー認証画面に戻ります。

5 「OK」を押します。

コピー画面が表示されます。

- 原稿をセットします。

6 「出力設定」を押します。



出力設定画面が表示されます。

- 7 [HDD 保存] を押します。



個人のフォルダー一覧画面が表示されます。

- 8 任意の個人のフォルダーを選択して、[ボックスへ] を押します。



選択した個人フォルダーに保存されているボックスが表示されます。

- 9 任意の個人のボックスを選択します。



選択した個人ボックスに保存されているファイルが表示されます。

10 「新規ファイル保存」を押します。



ファイル名入力画面が表示されます。

11 ファイル名を入力して、[OK] を押します。

→ ファイル名は、全角の漢字、ひらがな、カタカナ、英字で 32 文字、半角の英数字、記号、カタカナで 64 文字まで入力できます。半角英字は大文字と小文字の区別をします。



12 [OK] を押します。

コピー画面が表示されます。

13 操作パネルのスタートを押します。

→ 出力を開始します。
→ HDD への保存も開始します。

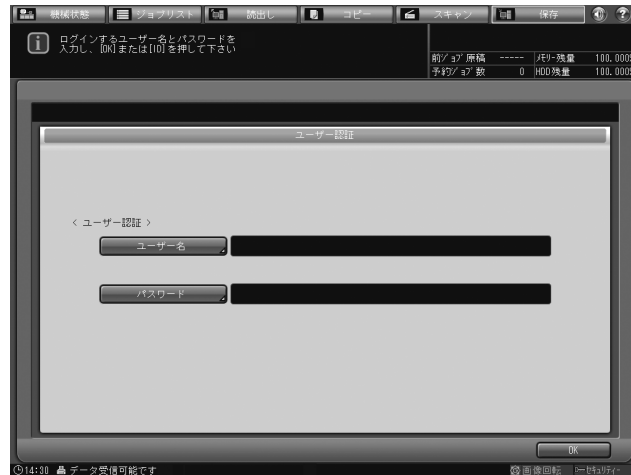
14 作業が終了したら、操作パネルの ID を押して、認証を解除します。

認証画面が表示されて、作業できなくなります。

2.4.2 データの保存（ボックス）

セキュリティ強化モード時に、HDD に格納されているボックスにデータを保存します。

- 1 「保存」タブを押して、表示されているユーザー認証画面の「ユーザー名」を押します。



ユーザー名入力画面が表示されます。

- 2 設定したユーザー名を入力して、「OK」を押します。
 - ユーザー名は、全角の漢字、ひらがな、カタカナ、英字で 32 文字、半角の英数字、記号、カタカナで 64 文字まで入力できます。半角英字は大文字と小文字の区別をします。



ユーザー認証画面にもどります。

3 [パスワード] を押します。



パスワード入力画面が表示されます。

4 設定したパスワードを入力して、[OK] を押します。

- ユーザーパスワードは、半角の英数字で 8 ～ 64 文字を入力します。
- 間違ったパスワードや 8 文字未満の半角英数字を入力して [OK] を押すと、[パスワードが一致しません] という警告メッセージが表示され、5 秒間いずれのキーやボタンも機能しなくなります。5 秒後に再度正しいパスワードを入力してください。
- 認証がうまくいかなかった情報は監査ログとして保存されます。ユーザー認証画面にもどります。

5 [OK] を押します。



保存画面が表示されます。

6 「スキャン to HDD」 を選択します。



個人のフォルダー一覧画面が表示されます。

7 任意の個人のフォルダーを選択して、「ボックスへ」を押します。



選択した個人フォルダーに保存されているボックスが表示されます。

8 任意の個人のボックスを選択します。



選択した個人ボックスに保存されているファイルが表示されます。

9 「新規ファイル保存」を押します。



10 ファイル名を入力して、[OK] を押します。

→ ファイル名は、全角の漢字、ひらがな、カタカナ、英字で 32 文字、半角の英数字、記号、カタカナで 64 文字まで入力できます。半角英字は大文字と小文字の区別をします。



スキャン画面が表示されます。

11 操作パネルのスタートを押して、ファイルを読み込んで、保存します。



- 12 任意のボタンを押します。
 - 引続き読みを行うときは〔はい〕を押します。
 - 終了するときは〔いいえ〕を押します。
- 13 作業が終了したら、**操作パネルの ID** を押して、認証を解除します。
認証画面が表示されて、作業できなくなります。

2.4.3 データの読出しと削除

セキュリティ強化モード時に、HDD に格納されているボックスのデータを読出しまたは削除します。

- 1 〔読出し〕タブを押して、表示されているユーザー認証画面の〔ユーザー名〕を押します。



ユーザー名入力画面が表示されます。

- 2 設定したユーザー名を入力して、〔OK〕を押します。
 - ユーザー名は、全角の漢字、ひらがな、カタカナ、英字で 32 文字、半角の英数字、記号、カタカナで 64 文字まで入力できます。半角英字は大文字と小文字の区別をします。



ユーザー認証画面にもどります。

3 「パスワード」を押します。



パスワード入力画面が表示されます。

4 設定したパスワードを入力して、「OK」を押します。

- ユーザーパスワードは、半角の英数字で 8 ～ 64 文字を入力します。
- 間違ったパスワードや 8 文字未満の半角英数字を入力して「OK」を押すと、「パスワードが一致しません」という警告メッセージが表示され、5 秒間いずれのキーやボタンも機能しなくなります。5 秒後に再度正しいパスワードを入力してください。
- 認証がうまくいかなかった情報は監査ログとして保存されます。ユーザー認証画面にもどります。

5 「OK」を押します。

読出し画面が表示されます。

6 任意のフォルダーを選択して、「ボックスへ」を押します。



個人のボックス一覧画面が表示されます。

- 7 任意の個人のボックスを選択します。

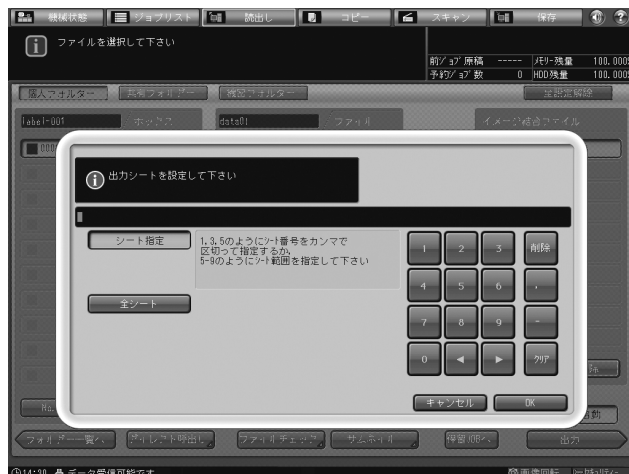


選択した個人ボックスに保存されているファイルが表示されます。

- 8 ファイルの読出または削除を行います。
- ファイルを読出す場合は手順 9 に進みます。
 - ファイルを削除する場合は手順 14 に進みます。
- 9 読出すファイル名を選択して [▶] を押します。
- 10 [自動]、[ブルーフ]、[ブルーフ (先頭 1 枚)]、[ウエイト] のいずれかのボタンを選択して、[出力] を押します。
- [ブルーフ (先頭 1 枚)] は、設定メニューで表示できます。初期設定では表示しません。詳しくは、POD 管理者編をごらんください。
- 11 テンキーで設定部数を入力します。



12 「出力シート変更」を押して、読出すファイルの出力シートを設定します。



- シートを指定して出力する場合は、「シート指定」を押して、テンキーでシート番号を入力します。
 - 設定シートは「,」で区切ります。連続シートを設定する場合は、シート間に「-」を入力します。
 - 全シート出力する場合は、「全シート」を押します。
- [OK] を押して出力します。

13 任意のボタンを押します。

- 引き続き読出しを行うときは「はい」を押します。
- 終了するときは「いいえ」を押します。

14 削除するファイル名を選択して、「ファイル削除」を押します。



削除確認の画面が表示されます。

15 「はい」を押します。

選択したファイルが削除され、ファイル選択画面にもどります。

16 作業が終了したら、操作パネルの ID を押して、認証を解除します。

認証画面が表示され、作業できなくなります。

2.4.4 機密プリントデータの出力

PC 側での機密プリント指令

PC 側で機密プリント出力設定を行う場合、あらかじめパスワード付きの機密フォルダーを登録している必要があります。最大 8 文字の機密フォルダー名（半角英数字）を入力します。

機械側での機密プリントの出力

- 1 「読出し」タブを押して、表示されているユーザー認証画面の「ユーザー名」を押します。



ユーザー名入力画面が表示されます。

- 2 設定したユーザー名を入力して、[OK] を押します。
 - ユーザー名は、全角の漢字、ひらがな、カタカナ、英字で 32 文字、半角の英数字、記号、カタカナで 64 文字まで入力できます。半角英字は大文字と小文字の区別をします。



ユーザー認証画面にもどります。

3 [パスワード] を押します。



パスワード入力画面が表示されます。

4 設定したパスワードを入力して、[OK] を押します。

- ユーザーパスワードは、半角の英数字で 8 ～ 64 文字を入力します。
- 間違ったパスワードや 8 文字未満の半角英数字を入力して [OK] を押すと、[パスワードが一致しません] という警告メッセージが表示され、5 秒間いずれのキーやボタンも機能しなくなります。5 秒後に再度正しいパスワードを入力してください。
- 認証がうまくいかなかった情報は監査ログとして保存されます。ユーザー認証画面にもどります。

5 [OK] を押します。

読出し画面が表示されます。

6 [機密フォルダー] を押します。



機密のボックス一覧画面が表示されます。

- 7 任意の機密のボックスを選択します。



- 8 機密プリントで設定した機密パスワードを入力して、[OK] を押します。
機密のファイル一覧画面が表示されます。

- 9 任意の機密のファイルを押しします。



- 10 [自動]、[プルーフ]、[プルーフ (先頭 1 枚)]、[ウエイト] のいずれかのボタンを選択して、[出力] を押します。

→ [プルーフ (先頭 1 枚)] は、設定メニューで表示できます。初期設定では表示しません。詳しくは、POD 管理者編をごらんください。

11 テンキーで設定部数を入力します。



12 [出力シート変更] を押して、読出すファイルの出力シートを設定します。



- シートを指定して出力する場合は、[シート指定] を押して、テンキーでシート番号を入力します。
 - 設定シートは「,」で区切ります。連続シートを設定する場合は、シート間に「-」を入力します。
 - 全シート出力する場合は、[全シート] を押します。
- [OK] を押して出力します。

13 任意のボタンを押します。

- 引続き読出しを行うときは「はい」を押します。
- 終了するときは「いいえ」を押します。

14 作業が終了したら、操作パネルの ID を押して、認証を解除します。
認証画面が表示され、作業できなくなります。

2.5 セキュリティ関連の管理者操作

セキュリティ強化モードのON/OFFは、管理者が設定メニュー画面で設定します。その前提として、機械にCEパスワードおよび管理者パスワードを設定します。管理者パスワードの設定はサービス実施店が行います。また、管理者パスワードの変更は、管理者が行います。管理者パスワードの変更手順は、POD管理者編の7章をごらんください。

機械のデータを漏洩や不正アクセスから守るため、必ず管理者をたててセキュリティ強化モードを設定してください。

2.5.1 セキュリティ強化モードのON/OFF

セキュリティ強化モードのON/OFFの設定について説明します。

- 1 操作パネルの設定メニュー／カウンターを押して、設定メニュー画面を表示します。
- 2 「06 管理者設定」を押します。



パスワード入力画面が表示されます。

- 3 管理者パスワードを入力します。
 - 8文字の半角英数字や記号の管理者パスワードを入力し、[OK]を押します。
 - 半角英字は大文字と小文字の区別をします。
 - 間違ったパスワードや8文字未満の半角英数字や記号を入力して[OK]を押すと、[パスワードが一致しません しばらくお待ち下さい]というメッセージを表示して、5秒間いずれのキーやボタンも機能しなくなります。5秒後に再度正しいパスワードを入力してください。
 - 認証がうまくいかなかった情報は、監査ログとして保存します。



管理者設定メニュー画面が表示されます。

4 「07 セキュリティー設定」を押します。



5 「03 セキュリティー強化設定」を押します。



6 セキュリティー強化設定の ON/OFF を選択します。

- セキュリティー強化設定モードを ON にする場合は [ON]、OFF にする場合は [OFF] を選択します。



7 「OK」を押します。

- セキュリティー強化設定の変更を確認するダイアログが表示されます。
→ 「はい」を押します。



- 8 副電源スイッチを OFF にして、主電源スイッチを OFF にします。

重要

[冷却中です 冷却後に自動的に電源が切れます] と表示されている間は主電源を切らないでください。

- 9 10 秒以上待ちます。

- 10 主電源スイッチを ON にして、副電源スイッチを ON にします。

2.5.2 HDD ロックパスワード

セキュリティー強化モードを ON にすると、HDD にロックパスワード（8 ～ 32 文字の半角英数字や記号、英字は、大文字と小文字の区別あり）を設定できます。ロックパスワードをかけることで、不正にすり替えられた HDD の持出しによるドキュメントデータの漏洩を保護します。HDD 単体で外部からアクセスされた場合は、ロックパスワードが一致しないと、HDD 内部のデータを読み出すことができません。

重要

名前、誕生日、社員番号など、他人が容易に推測できるパスワードを設定しないでください。

パスワードは、他の人に教えたり、知られたりしないように注意してください。

- 1 操作パネルの設定メニュー／カウンターを押して、設定メニュー画面を表示します。
- 2 [06 管理者設定] を押します。
 - HDD ロックパスワードは、セキュリティー強化モードを ON にしたときだけ機能します。セキュリティー強化モードを OFF にしていると、[セキュリティー強化機能を設定して下さい] というメッセージが表示されます。
 - セキュリティー強化モードを使用する時には、HDD ロックパスワードを必ず設定してください。



パスワード入力画面が表示されます。

- 3 管理者パスワードを入力します。
 - 8 文字の半角英数字や記号の管理者パスワードを入力してから、[OK] を押します。
 - 半角英字は大文字と小文字の区別をします。
 - 間違ったパスワードや 8 文字未満の半角英数字や記号を入力して [OK] を押すと、[パスワードが一致しません しばらくお待ち下さい] というメッセージを表示して、5 秒間いずれのキーやボタンも機能しなくなります。5 秒後に、正しいパスワードを入力しなおしてください。
 - 認証がうまくいかなかった情報は、監査ログとして保存します。



管理者設定メニュー画面が表示されます。

- 4 [07 セキュリティ設定] を押します。



- 5 [02 HDD 管理設定] を押します。



HDD 管理設定メニュー画面が表示されます。

- 6 [03 HDD ロックパスワード] を押します。



HDD ロックパスワード画面が表示されます。

- 7 [現パスワード] を押して現パスワードを入力してから、[OK] を押します。
初回パスワードは 13 文字の半角英数字の本体シリアル No です。



→ 本体シリアル No は、設定メニュー画面の右上、または監査ログプリントの右上に 13 文字の半角英数字で表示されています。詳しくは、セキュリティ関連の管理者操作、「監査ログのプリント」をごらんください。

- 8 認証が成功したら、[新パスワード] を押して新パスワードを入力します。

重要

名前、誕生日、社員番号など、他人が容易に推測できるパスワードを設定しないでください。

- HDD ロックパスワードは、半角の英数字で 8 ～ 32 文字を入力します。
- 間違ったパスワードや 8 文字未満の半角英数字を入力して [OK] を押すと、[パスワードが一致しません しばらくお待ち下さい] という警告メッセージが表示され、5 秒間いずれのキーやボタンも機能しなくなります。5 秒後に再度正しいパスワードを入力してください。
- 認証がうまくいかなかった情報は監査ログとして保存されます。
- パスワードを変更した情報は、監査ログとして保存します。
- 現在のパスワードを、新パスワードとして設定できません。
- 入力が終わったら、[OK] を押します。

- 9 [確認入力] を押して、再度、同じパスワードを入力します。

→ 入力が終わったら、[OK] を押します。

- 10 HDD ロックパスワード画面の [OK] を押します。

2.5.3 一時データ上書き削除

HDD や DRAM に一時的に保存するドキュメントデータを利用できないように削除するか、しないかを選択します。消去する場合、そのモードを 2 つのうちから 1 つ選択します。

- 1 操作パネルの**設定メニュー／カウンター**を押して、設定メニュー画面を表示させます。
- 2 [06 管理者設定] を押します。



パスワード入力画面が表示されます。

3 管理者パスワードを入力します。

- 8 文字の半角英数字や記号の管理者パスワードを入力し [OK] を押します。
- 半角英字は大文字と小文字の区別をします。
- 間違ったパスワードや 8 文字未満の半角英数字や記号を入力して [OK] を押すと、[パスワードが一致しません しばらくお待ち下さい] というメッセージを表示し、5 秒間いずれのキーやボタンも機能しなくなります。5 秒後に再度正しいパスワードを入力してください。
- 認証がうまくいかなかった情報は、監査ログとして保存します。



管理者設定メニュー画面が表示されます。

4 「07 セキュリティー設定」を押します。



5 「02 HDD 管理設定」を押します。



HDD 管理設定メニュー画面が表示されます。

6 「04 一時データ上書き削除設定」を押します。



一時データ上書き削除設定画面が表示されます。

- 7 一時データの上書き削除をするかどうかを選択します。
 → する場合は「する」を、しない場合は「しない」を押します。



- 8 上書き削除する場合はモードを選択します。
 → 「モード1」または「モード2」を押します。詳しくは、POD 管理者編をごらんください。
 → 一時データの上書き削除をしない場合はどちらのモードを選択しても変わりません。
- 9 一時データ上書き削除設定画面の「OK」を押します。
- 10 副電源スイッチを OFF にして、主電源スイッチを OFF にします。
 → 「冷却中です 冷却後に自動的に電源が切れます」と表示されている間は主電源を切らないでください。
- 11 10 秒以上待ちます。
- 12 主電源スイッチを ON にして、副電源スイッチを ON にします。

2.5.4 全データ上書き削除

HDD に保存されているドキュメントデータをすべて削除します。そのとき、消去モードを8つのうちから1つを選択します。

- 1 操作パネルの設定メニュー／カウンターを押して、設定メニュー画面を表示させます。
 → 全データ上書き削除の機能を使用する場合は、サービス実施店にお問い合わせください。
- 2 「06 管理者設定」を押します。



パスワード入力画面が表示されます。

- 3 管理者パスワードを入力します。
- 8文字の半角英数字や記号の管理者パスワードを入力し [OK] を押します。
 - 半角英字は大文字と小文字の区別をします。
 - 間違ったパスワードや8文字未満の半角英数字や記号を入力して [OK] を押すと、[パスワードが一致しません しばらくお待ち下さい] というメッセージを表示し、5秒間いずれのキーやボタンも機能しなくなります。5秒後に再度正しいパスワードを入力してください。
 - 認証がうまくいかなかった情報は、監査ログとして保存します。



管理者設定メニュー画面が表示されます。

- 4 [07 セキュリティー設定] を押します。



- 5 [02 HDD 管理設定] を押します。



HDD 管理設定メニュー画面が表示されます。

- 6 「05 全データ上書き削除設定」を押します。



全データ上書き削除設定画面が表示されます。

- 7 消去モードを選択して、「削除実行」を押します。
→ 消去モードについて詳しくは、POD 管理者編をご覧ください。

重要

「削除実行」で削除すると HDD のデータはすべて再利用できません。必要なデータは事前に別のデバイスに保存してください。



- 8 データ上書き削除設定画面の「前画面」を押します。

2.5.5 監査ログのプリント

機械に保存されているデータにアクセスすると、監査ログを自動的に生成します。保存されたすべての監査ログデータは、以下の手順で出力できます。

- 1 操作パネルの設定メニュー／カウンターを押して、設定メニュー画面を表示します。
- 2 「06 管理者設定」を押します。



パスワード入力画面が表示されます。

- 3 管理者パスワードを入力します。
 - 8 文字の半角英数字や記号の管理者パスワードを入力し [OK] を押します。
 - 半角英字は大文字と小文字の区別をします。
 - 間違ったパスワードや 8 文字未満の半角英数字や記号を入力して [OK] を押すと、[パスワードが一致しません しばらくお待ち下さい] というメッセージを表示し、5 秒間いずれのキーやボタンも機能しなくなります。5 秒後に再度正しいパスワードを入力してください。
 - 認証がうまくいかなかった情報は、監査ログとして保存します。



管理者設定メニュー画面が表示されます。

4 [01 環境設定] を押します。



5 [04 リスト/カウンター] を押します。



リスト/カウンター画面が表示されます。

6 [監査ログレポート] を選択して、[印刷モードへ] を押します。



- 7 プリントアウトします。
- 操作パネルのスタートを押します。
 - プリントを中止する場合は、操作パネルのストップを押します。中止確認のダイアログを表示します。[中止] を選択すると、プリントを中止します。
 - プリントを終了したら、[閉じる] を押します。

2.5.6 監査ログの解析

監査ログは、機械に保存されているデータに不正なアクセスや改ざんなどがあったとき、または定期的（1 か月に 1 回程度）に、管理者が解析する必要があります。

監査ログに保存される項目の数は、750 件／月以下を想定しています。月に 750 件以上の保存が想定される場合は、750 件前後の期間で定期的に解析してください。

Audit log report									
									P.1
									2012/04/04 18:29
									A4EW001001007
									TC:931
No	date/time	id	action	result	No	date/time	id	action	result
0001	2012/04/04 18:29	-2	04	OK	0002	2012/04/04 15:35	-3	11	NG
0003	2012/04/04 14:26	1	11	OK	0004	2012/04/04 14:24	1	11	OK
0005	2012/04/04 14:24	1	11	NG	0006	2012/04/04 14:23	-3	11	NG
0007	2012/04/04 14:23	1	11	NG	0008	2012/04/04 14:22	2	07	OK
0009	2012/04/04 14:22	1	07	OK	0010	2012/04/04 14:22	2	07	OK
0011	2012/04/04 14:21	1	07	OK	0012	2012/04/04 14:18	-2	02	OK
0013	2012/04/04 14:17	2	07	OK	0014	2012/04/04 14:17	-2	02	OK
0015	2012/04/04 14:15	-2	02	OK	0016	2012/04/04 14:11	-2	02	OK
0017	2012/04/04 11:23	-2	02	OK	0018	2012/04/04 11:21	-2	02	OK
0019	2012/04/04 11:20	-2	02	OK	0020	2012/04/04 11:19	-1	06	OK
0021	2012/04/04 11:19	-1	06	OK	0022	2012/04/04 11:18	1	11	OK
0023	2012/04/04 11:17	-3	11	NG	0024	2012/04/04 11:15	1	11	NG
0025	2012/04/04 11:14	1	11	NG	0026	2012/04/04 11:11	1	11	OK

監査ログの記載事項

監査ログには、下記の情報が記載されています。

- date/time：ログ保存の対象になる操作が行われた年月日、および時間を記載します。
- id：操作を行った人物、またはセキュリティ保護の対象を特定します。
 - [-1]：サービスエンジニア（CE）による操作
 - [-2]：管理者による操作
 - [-3]：未登録ユーザーによる操作
 - 上記以外の整数：それぞれのセキュリティ保護対象を表していますが、下記 ID でその保護対象を限定します。
 ユーザー ID：1 ～ 1000 の数字
 機密ユーザー ID：1 ～ 99999 の数字
- action：操作の内容を特定します。
詳細は、下記の対応表で確認できます。
- result：操作の結果を記載します。
パスワード認証に関する結果に対しては、成功または失敗を OK/NG で表示します。
パスワードによる認証を伴わない操作の結果は、すべて成功（OK）と記載されます。

監査ログに保存される項目の対応表

No	操作内容	監査 id	保存される action	監査結果
1	CE 認証	CE ID	01	OK/NG
2	管理者認証	管理者 ID	02	OK/NG
3	セキュリティ強化モードの設定／変更	管理者 ID	03	OK
4	監査ログの印刷	CE ID	04	OK
5	CE パスワードの変更／登録	CE ID	05	OK
6	管理者パスワードの変更／登録	CE ID/ 管理者 ID	06	OK
7	管理者によるユーザーの作成	ユーザー ID	07	OK

No	操作内容	監査 id	保存される action	監査結果
8	管理者によるユーザーパスワードの変更／登録	ユーザー ID	08	OK
9	ユーザーの削除	ユーザー ID	09	OK
10	ユーザーの属性変更	ユーザー ID	10	OK
11	ユーザーのパスワード認証	ユーザー ID ^{*1} / 未登録ユーザー ID ^{*2}	11	OK/NG
12	ユーザーによるユーザーの属性変更 (ユーザーパスワード変更など)	ユーザー ID	12	OK
13	ファイルへのアクセス (ドキュメントデータの読出し)	ユーザー ID	13	OK
14	ファイルの削除 (ドキュメントデータの削除)	ユーザー ID	14	OK
15	ファイルの属性変更	ユーザー ID	15	OK
16	機密プリントパスワード認証	機密ユーザー ID ^{*3} / 未登録ユーザー ID ^{*4}	16	OK/NG
17	機密プリントファイルへのアクセス	機密ユーザー ID	17	OK
18	機密プリントファイルの削除	機密ユーザー ID	18	OK
19	HDD ロックパスワードの変更	管理者 ID	19	OK

^{*1}: ユーザー認証に成功したとき、およびユーザー名は登録されているがパスワードが不一致だったとき、監査ログ ID をユーザー ID として保存します。

^{*2}: 未登録ユーザー名でユーザー認証に失敗したとき、監査ログ ID を未登録ユーザー ID として保存します。

^{*3}: 機密プリント認証に成功したとき、および機密ユーザー名は登録されているがパスワードが不一致だったとき、監査ログ ID を機密ユーザー ID として保存します。

^{*4}: 未登録ユーザー名で機密プリント認証に失敗したとき、監査ログ ID を未登録ユーザー ID として保存します。

監査ログの解析目的は、下記の内容を把握して、対策を講じることです。

- データに対する攻撃の有無
- 攻撃の対象
- 攻撃の内容
- 攻撃による結果

具体的な解析方法は、以下を参照してください。

不正が行われた事象の特定：パスワード認証

パスワード認証 (action 01、02、11) の結果に「NG」と記載されている場合は、パスワードによって保護されている対象が攻撃された可能性があります。

- パスワード認証の失敗 (NG) のログは、操作した人物を id で特定し、パスワード認証が失敗した時間に、不正な行為があったどうかを示します。
- パスワード認証が成功 (OK) した場合でも、action が正当な操作対象の人物によって行われたかどうかの確認ができます。特に、失敗 (NG) の連続の後に成功 (OK) した場合や、通常の操作時間外のパスワード認証に関しては、不正な行為である可能性が高いので、十分な確認が必要です。

不正が行われた事象の特定：パスワード認証以外の保護対象に対するアクション

パスワード認証以外の操作結果は、すべて成功 (OK) と記載されるので、不正行為の有無は action および id によって判断します。

- id だけでは攻撃された対象を特定できないので、アクションと全ページの対応表を参照して、不正行為の対象が個人のボックスか機密のボックスかを特定します。
- 操作の時間を確認し、特定した対象を操作した人物が不正な行為を行ったかどうかを確認します。

(例)

ボックスに保存されたドキュメントが不正な認証によってプリントされた場合、以下の監査ログが保存されます。

1. ボックスへのパスワード認証 :
 action = 11
 id = 認証の対象となったボックス
 result = OK/NG
2. ボックス内のドキュメントへのアクセス :
 action = 13
 id = 認証の対象となったボックス

上記の操作が行われた日時を確認して、該当する個人または機密のボックスに保存されているドキュメントへの操作が、正当な個人または機密のボックス所有者によって行われたかどうかを確認します。

不正行為発見時の対応

監査ログを解析した結果、パスワードが漏洩したことが判明した場合は、至急、パスワードを変更してください。

- パスワードが改ざんされて、本来の所有者がアクセスできなくなる場合も考えられます。管理者は、そういう事態になっていないかユーザーと連絡を取合い、そのときはパスワードの変更や保存しているデータを削除して対応する必要があります。
- 保存したはずのドキュメントが保存されてない場合や内容が変更されていた場合も、不正な行為が行われている可能性があります。同様の対応が必要です。

MEMO

3

索引

3 索引

3.1 項目別索引

H

HDD ロックパスワード 2-43

I

IC カード 2-5

U

USB 接続ポートの機能 2-5

あ行

一時データ上書き削除 2-45

か行

監査ログ 2-5

監査ログの解析 2-53

監査ログのプリント 2-51

管理者の認証 2-5

管理者モード 2-5

外部からのアクセス禁止 2-5

機密プリントデータの出力 2-36

さ行

使用後の残存データの保護と消去 2-4, 2-6

制御ソフトウェアの ROM バージョン表示機能 2-2

セキュリティ関連の管理者操作 2-40

セキュリティ強化モード 2-3

セキュリティ強化モード時の HDD 保存機能 2-24

セキュリティ強化モード時のユーザー認証 2-7

セキュリティ強化モードで保護対象にならないデータ .. 2-6

セキュリティ強化モードによって保護が強化されるデータ .. 2-5

セキュリティ強化モードの ON/OFF 2-6, 2-40

セキュリティ強化モードの使用環境 2-3

全体制御ソフトウェア 2-2

全体制御ソフトウェアのバージョン 2-2

全データ上書き削除 2-48

た行

通常モード 2-3

データの保存（コピー） 2-24

データの保存（ボックス） 2-28

データの読出しと削除 2-32

データへのアクセス 2-4

は行

パスワードの強化 2-4

本体 NIC の設定 2-5

や行

ユーザー登録の削除 2-18

ユーザー登録の追加 2-7

ユーザー登録の変更 2-13

ユーザーによるパスワードの変更 2-21

3.2 キー索引

H

HDD 管理設定	2-44, 2-47, 2-49
HDD 保存	2-26
HDD ロックパスワード	2-44

O

OFF	2-41
ON	2-41

あ行

いいえ	2-32, 2-35, 2-39
一時データ上書き削除設定	2-47
印刷モードへ	2-52
ウエイト	2-34, 2-38

か行

確認入力	2-23, 2-45
環境設定	2-21, 2-52
監査ログレポート	2-52
管理者設定 .. 2-7, 2-13, 2-18, 2-40, 2-43, 2-45, 2-48, 2-51	
機密フォルダー	2-37
現パスワード	2-22, 2-45
コピー操作	2-12, 2-17

さ行

削除	2-20
削除実行	2-50
シート指定	2-35, 2-39
しない	2-48
終了	2-23
出力	2-34, 2-38
出力シート変更	2-35, 2-39
出力設定	2-25
所属部門	2-11, 2-16
新規ファイル保存	2-27, 2-31
新パスワード	2-23, 2-45
自動	2-34, 2-38
上限設定	2-11, 2-16
上限値	2-11, 2-16
スキャン to HDD	2-30
スキャン操作	2-12, 2-17
スタート	2-53
ストップ	2-53
する	2-48
セキュリティ強化設定	2-41
セキュリティ設定	2-41, 2-44, 2-47, 2-49
設定メニュー／カウンター	2-7, 2-13, 2-18, 2-21, 2-40, 2-43, 2-45, 2-48, 2-51
全シート	2-35, 2-39
全データ上書き削除設定	2-50

た行

中止	2-53
追加	2-9
閉じる	2-53

は行

はい	2-20, 2-32, 2-35, 2-39, 2-41
パスワード	2-10, 2-16, 2-25, 2-29, 2-33, 2-37
ファイル削除	2-35
プリンター印字	2-12, 2-17
プルーフ	2-34, 2-38
プルーフ（先頭 1 枚）	2-34, 2-38
変更	2-15
保存	2-28
ボックスへ	2-26, 2-30, 2-33

ま行

モード 1	2-48
モード 2	2-48

や行

有効	2-11, 2-16
ユーザー No.	2-9
ユーザー登録	2-9, 2-14, 2-19
ユーザー認証設定	2-8, 2-14, 2-19
ユーザー認証／部門管理	2-8, 2-13, 2-19
ユーザー認証／部門認証連動	2-11, 2-16
ユーザーパスワード変更	2-21
ユーザー名 .. 2-10, 2-15, 2-22, 2-24, 2-28, 2-32, 2-36	
読出し	2-32, 2-36
読出し操作	2-12, 2-17

ら行

リスト／カウンター	2-52
連動する	2-11, 2-16

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

MEMO

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》
販売店名
電話番号
担当部門
担当者

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》
TEL

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 <http://bj.konicaminolta.jp>

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-805039（受付時間：土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）



KONICA MINOLTA

国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元
コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング